

もう一度ルートを探索する

再探索メニューを表示する

ルートを編集したり、条件を変更したりして再探索することができます。

現在地メニューから「再探索」を選ぶ



● 再探索メニューが表示されます。



- ルートの探索条件を変更する(☞ 下記)
- 現在のルートを迂回したいとき(☞ 右記)
- 案内する道路を誤って認識したとき(☞ 右記)
- ルートを変更する場合(☞ 80～85ページ)

ルートの探索条件を変更する

現在、案内されているルートの探索条件と違う条件に変更して探索することができます。

- 経由地、通過点(☞ 82ページ)、入口/出口ICの指定(☞ 84ページ)が設定されている場合は、次の地点までのルートが対象です。(他の区間の探索条件を変更するには☞ 85ページ)

再探索メニュー(☞ 上記)から探索条件を選ぶ



おまかせ：有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート。*

有料優先：有料道路を優先して通るルート。*

一般優先：一般道路を優先して通るルート。*

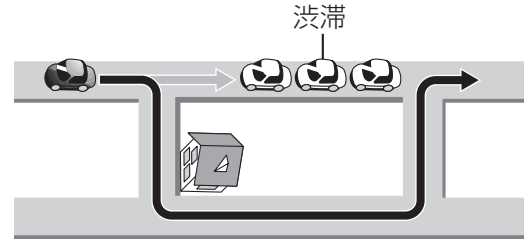
距離優先：距離が短くなるようなルート。

別ルート：現在の探索条件で別のルート。

※**渋滞**表示時(渋滞データバンク探索「する」に設定時☞ 224ページ)は、渋滞データバンク探索されます。

現在のルートを迂回したいとき(周辺迂回探索)

途中で渋滞などが発生した場合、それらを迂回するルートを探索できます。



周辺迂回を選ぶ



お知らせ

- ルートによっては、迂回できない場合があります。
- 迂回する距離は、約2 km以内です。距離を設定することはできません。

案内する道路を誤って認識したとき

有料道路と一般道路が並行しているときは、道路を取り違えてルート案内をすることがあります。(例：自車が有料道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、再探索できます。

- 対象は、異なる道路種別で隣接している並行な道路のみです。

一般道路を走行中に有料道路の案内をした場合
再探索メニュー(☞ 左記)から
一般道から探索を選ぶ

有料道路を走行中に一般道路の案内をした場合
再探索メニュー(☞ 左記)から
有料道から探索を選ぶ



- 道路を切り換えてもう一度ルートを探索します。

ルート探索について

探索条件について

おまかせ：有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルートを探索します。

有料優先：有料道路を優先して通るルートを探索します。

一般優先：一般道路を優先して通るルートを探索します。

距離優先：目的地までの距離が短くなるルートを探索します。

別ルート：現在の探索条件で別のルートを探索します。

通常はおまかせで探索します。



例：おまかせでルートを探索しています。

- 探索条件を変更するには、ルート変更画面から「探索条件変更」を選び、探索条件を変更してください。(☞ 85ページ)

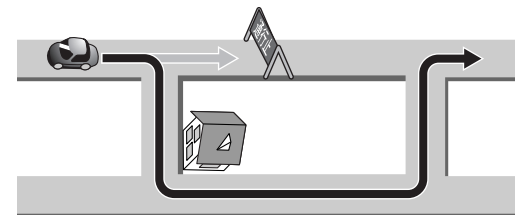
お知らせ

- 一般優先で探索していても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。

VICS経路探索する

FM VICSの規制情報(通行止など)をもとに、規制の場所を避けたルートを探索します。(FM VICSの渋滞情報は考慮されません。)

※別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続すると、ビーコンの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。



お知らせ

- VICS経路探索する/しないの設定ができます。(☞ 226ページ)

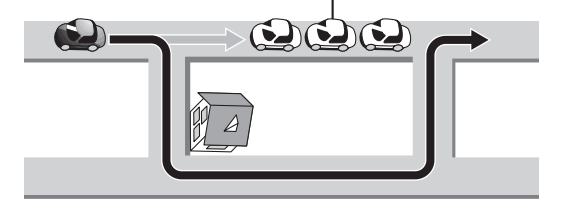
渋滞データバンク探索する

過去の渋滞の状況をもとに渋滞を想定し、その結果を考慮したルートを探索します。

● 渋滞データバンクについて

- 過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を考慮します。
- 渋滞データバンクで探索されたルートを通っても、早く着くとは限りません。

本機が想定した渋滞

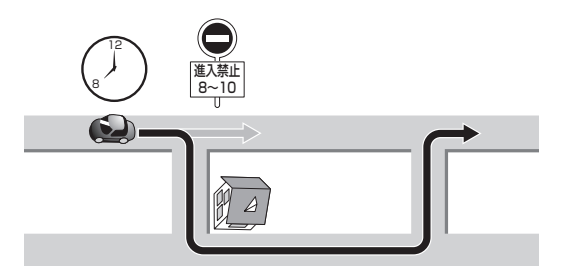


お知らせ

- 渋滞データバンク探索「する」に設定してください。(☞ 224ページ)

曜日時間規制探索する

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。



規制があっても案内することがあります。曜日時間規制探索によるルートを通るときは、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

お知らせ

- 規制区間(常時進入禁止区間を含む)を通るルートを探索した場合、ルート上にX(黄色)が表示されることがあります。